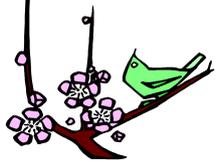


2月 如月



歓歩

第89号
2012年2月1日発行

福井県ウオーキング協会

910-0006 福井市中央1丁目9-29
Tel fax 0776-28-6980
メール fukui-walking@cube.ocn.ne.jp
HP http://fukui-walking.sakura.ne.jp

2月例会のご案内（スイセンマーチ）

あの時のスイセンマーチは、香しいにおいの可愛いとしい花が辺り一面、足もとまで咲き誇っていたなあ。あの時のスイセンマーチはすごい天気だった。真黒い日本海の沖の方に竜巻が立ち、波の花が舞い、防寒着の襟をがっちり締めて歩いたなあ。あの時は、地元の人にスイセンの花を分けていただいたっけ。

今年のスイセンマーチは、どんなドラマが待ち構えているでしょうか。



日時	平成24年2月12日(日) 9時30分～13時30分
集合場所	スイセンランド入口
解散場所	玉川温泉(6km) 越前町梅浦(10km)
距離	6km 10km
コース	スイセンランド入口 ⇒ 梨子ヶ平 ⇒ スイセンランド付近 ⇒ 血ヶ平 ⇒ 玉川温泉(6kmコース) ⇒ 梅浦(10kmコース)
アクセス	バス予約の方(JR鯖江東口8:30) 福井(8:04) → 鯖江(8:19) 敦賀(7:42) → 鯖江(8:18) (電車の時刻は各自再確認下さい)



3月例会のご案内（江戸人の知恵 十郷用水ウォーク）

日時	平成24年3月25日(日) 8時30分～12時30分
集合解散場所	坂井中央公園 JR丸岡駅より徒歩5分
距離	12km 6km
アクセス	敦賀(7:21) → 武生(7:55) → 福井(8:18) → 丸岡(8:30) 芦原温泉(8:08) → 丸岡(8:13)



(電車の時刻は各自再確認下さい)



ウォーキング教室のおしらせ

今年も「ウォーキング教室」を開催します。

基本をしっかりと身につけてケガのないウォーキングライフを楽しみましょう。昨年・今年入会されたウォーキング教室未受講の会員は受講してください。入会時に受講されて長らく教室を受講されていない方も、この機会にもう一度受講して、基本を見直してみませんか？会員でない方にも声をかけてあげて下さい。仲間を増やしましょう。

日時 平成24年3月3日(土) 8時半～12時30分
会場 福井県青少年センター

(福井市福新町2505 tel 0776-36-4853)

市内バス運動公園線福新町1丁目下車3分

受講料 会員無料 ビジター500円

服装等 ウォーキングの出来る服装 屋外用及び室内用靴

福井鉄道福武線

泰澄寺・北国街道を歩く

日時	平成24年2月11日(土・祝)
集合場所	福井鉄道福武線「泰澄の里」駅
集合時刻	午前9時30分
コース	泰澄の里駅⇒泰澄寺⇒旧北国街⇒ベル前(解散)
距離	7キロ
参加費	100円(保険・資料代)
主催	福井鉄道
後援	福井県ウォーキング協会 (各種の押印はありません。)



福井県ウォーキング協会

検索

最新情報満載のホームページもご利用ください

今年のウオークは、 「近松の里」からはじまる

1月9日、成人式の月曜日、例会「初春の近松の里ウオーク」が行われました。雨のせいで出足が鈍るにではと懸念しましたが、予想していたよりは多く、83名の参加者がありました。

時折、雨も止み、風も強くなく、寒さはそれほど強く感じずに楽しく歩け、11時30分には、全員ゴールできました。



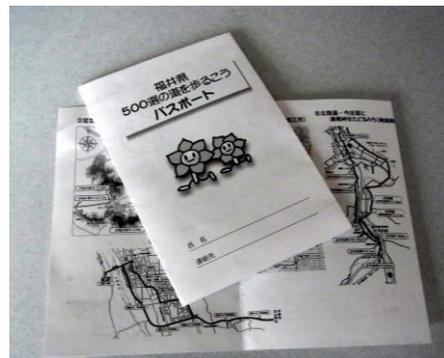
福井県歩きたくなるみち 500選シリーズは4月から

県内に「歩きたくなるみち500選」に指定されたコースは、11コースありますが、今までの例会や大会では、一部しか歩いていないことが多々ありました。

4月15日(日)の足羽三山ウオーク(詳細は次号)をかわきりに2年間かけて全コース全行程を歩きます。福井県独自のパスポート(有料)も発行します。

パスポートには、コースの地図が入っていて、わかりやすくなっています。

すべて完歩された方には表彰も予定しています。仲間と共に、500選を完歩しましょう。



“11 シルクロード 驚きと感動！ 茶馬古道と西南シルクロードの旅

中村 保之

「西南シルクロード」とか「茶馬古道」という言葉をお聞きになっっていますか。茶馬古道とは中国雲南省のお茶と、チベットの馬の交易ルートです。西南シルクロードは四川省から雲南省を経てミャンマーやインドへの交易ルートで、沙漠や草原のシルクロードとは違ったもう一つのシルクロードとして注目されています。どちらも同じようなものとの見方もありますが、中国では歴然と分けられています。

今年のシルクロードツアーは「歴史の場所に立ってみたい」という旅の目的でその四川省と雲南省へ出かけました。そこで見たものは…

西南シルクロードの起点とされる成都の近くにある「三星堆遺跡」へ行き、博物館に入りました。まずは発掘された奇怪な人面、獣面の数々や高度な青銅器技術に驚かされました。中国文明は黄河流域に発生したものとされてきましたが、三星堆文明はそれを否定するかのような異質でしかももっと古いのではないかと注目されています。

成都郊外の「都江堰」、これは二千年前に暴れ川の岷江(びんこう)の水を、農業や生活用水に取り入れる水利施設として造られた世界遺産です。しかもそれが今でも成都を水害から守っているというのですから驚きです。

また、「沙溪村」や「東河村」では、清代からの床屋さんが営業していたり、昔のキャラバン宿が今でも使われているなど、そして村の中の茶馬古道が生活道路として立派に機能しているのには、悠久の歴史を感じました。

ところで「東巴(トンパ)文化」という言葉を聞いたことがありますか。麗江付近に住む少数民族のナシ族の古代文化で、東巴博物館には今は使われていない“トンパ象形文字”を伝える老書家が居て、トンパ文字で書いた色紙を売っていました。この文字が面白いので、麗江の町でトンパ文字をデザインした濃紺のTシャツを買いました。帰国して洗濯したところ、色落ちして一緒に洗った白物が全部“藍染”になってしまい、「やっぱり中国のものは…」とあきらめましたが被害甚大でした。

大理は茶馬古道と西南シルクロードの交差点、少数民族の白(ペー)族の町です。麗江はナシ族の町ですが、それらの少数民族の町が北京や上海の町並みのようになります“漢化”されているのは?でした。

また多くの観光地には、最近の中国の経済発展を象徴するかのように入産物店が建ち並び、さながら日本の馬籠宿か高山市が引っ越してきたような賑わいです。ただそのけたたましさ、マナーの悪さにはいつものように閉口しましたが、その裏町に今も使われている数千年前の茶馬古道を見つけたときは感慨深いものがありました。いい旅でした。

(この紀行文は、昨年(2019年)の10月、会員の仲間10人ほどで中国のシルクロードをウオーキング旅行した時のものです)

